

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38654
事業名	行政事務センター運営費					
評価担当課	所 属	総)行政部 推進課			電話番号	211-2061
施策名	－					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	急速に進展する少子高齢・人口減少社会による労働力不足の局面においても、市民サービスを維持・向上させるためには、業務の効率化を図り、職員にしかできない仕事に注力できる環境を整備するとともに、人的リソースを創出し、適切な人員配置を行うことが必要である。 本業務は、書類の形式的な確認や入力作業等、軽易かつ委託可能な業務を一括して集中的に処理するとともに、民間の知見・ノウハウを活かした継続的な業務改善を図る「行政事務センター」の運営を行うものである。
	事業内容(何を実施し)	「行政事務センター」を設置し、本市職員が担う業務のうち、職員でなくてもできるノンコア業務(申請受付・封入封緘・問い合わせ対応等)を対象として、民間委託の推進による職員負担の軽減を図るとともに、民間の知見を活かしたBPRやICTの活用といった業務改善により行政コスト削減を図る。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	急速に進展する少子高齢社会、人口減少社会による労働力不足の局面においても、市民サービスの維持向上を図り、複雑多様化する市民ニーズや新たな行政需要へ対応していくため、業務の効率化を図り、人的リソースを創出していく。
	他都市の状況	・札幌市が「行財政改革に向けた情報共有に関する覚書」を締結した神戸市では平成29年6月から導入済み。取扱業務数は112業務(令和5年7月現在)。 ・仙台市や北九州市でも導入予定で、現在契約締結に向けて進めているところ。 ・福岡市や名古屋市、京都市等でも行政事務センターの導入を検討中。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	50,456 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.1 人工
令和5年度予算額	284,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工
令和5年度決算額	220,965 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工
令和6年度予算額	330,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.95 人工

指標	アウトプット活動指標1	検討業務数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		27	37	42	47	57	67
	↓						
	アウトカム成果指標1	想定削減時間				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		50,861	105,000	83,139	112,000	126,000	130,000
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標である検討業務数は目標を上回ったが、実際に委託化できた業務数や各業務での想定削減時間が見込みを下回り成果指標は達成できなかった。今後は広報等で業務数を増やすほか、各委託範囲を前後に拡大できないかなど、成果指標達成に資する取組を検討して行きたい。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	成果指標達成に向け、庁内広報の充実や各委託事業における委託業務範囲の拡大など、有効な手法を検討、実施する。
来年度以降の方向性	「今年度の見直し内容」に同じ。